

令和元年第3回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和元年9月定例会

| 順序 | 議員名 | 要 旨 |
|-----|-------|---|
| 1 番 | 西村 良伸 | <p>1 当別町の人口問題について</p> <p>(1) 人口減の原因は、何であると考えているのか。 特に、様々な事業展開をしている中、人口減少を止められない特徴的な要因はあるのか。</p> <p>(2) 目標人口は、どのような基準・考え方で、積み上げているのか。</p> <p>(3) 高齢者が活躍できるシステム作りの強化が必要であり、仕事・健康・趣味等の活動を担う民間団体の育成にさらに努めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) さっぽろ連携中枢都市圏構想のなかで当別町の役割や戦略無しでは、埋没してしまうとともに、人口流出につながるのでは。</p> <p>2 財源確保について</p> <p>(1) 第2次財政運営計画で町債残高、財政調整基金、実質公債費比率、将来負担比率を目標通り達成できた要因と、今後の総合計画を推進するために必要な事業費の確保のため、歳入増及び歳出削減はどのように行うのか。</p> <p>(2) 公共施設等総合管理計画に基づき、今後個別施設計画を策定するが、計画実施にあたり、町単費の支出や起債を発行するわけで、起債予定額の内、将来どの程度、交付税で措置されると想定しているのか。</p> <p>3 行政の継続性と総合計画について</p> <p>(1) 第5次総合計画の取組の変更、新たな取組みや目標について、今現在想定しているものはなにか。</p> <p>(2) 総合計画と個々の計画の連携や推進状況の把握はどのような体制で管理するのか。</p> <p>4 当別町一体型義務教育学校について</p> <p>(1) 当別小学校を解体する場合の経費や体育館等の補助金返還、起債残の対処法、または転用許可の条件や当小のすべてを解体せずに有効利用した場合、経費節減が可能と考えるがどうか。</p> <p>(2) ①当初予定された建設費との比較で、国費、町単費、起債額の変動はどれくらいか。 ②公共施設等適正管理推進債の活用は初めから予定していたのか。 ③約35億円の起債として、3年据え置き、20年償還となっているが、地方交付税算定に伴う交付金はどれくらいなのか。</p> <p>(3) 人口増、災害対策等による建物の増改築の余地や事業費の見直し・圧縮は、あるのか。</p> |
| 2 番 | 島田 裕司 | <p>1 町立図書館設置について</p> <p>(1) 町長は、残り任期の中で図書館建設について、どう取り組むのか、その決意を伺う。</p> |

| | | |
|-----|------|--|
| | | <p>(2) 今の町や教育委員会の現況を考えると、まず「図書館設置条例」を制定し、常勤職員としての専門職の配置や町民ボランティアなどの協力を頂き、今後、建設される図書館へと、スムーズに移行する方法を、とってはどうか。</p> <p>(3) 湯山家旧宅で現在、NPO 法人で児童文庫としてボランティア活動をされている。この児童文庫図書館を条例制定に合わせて、町立図書館の分館とする検討をしてはどうか。</p> <p>(4) 当別入植 150 年を契機に、伊達記念館や旧当別町開拓郷土館の歴史的資料や収集した現物資料を生かした図書館建設（づくり）を今から始めるべきでないか。</p> <p>2 住民に災害情報を迅速かつ的確に伝送するシステムの整備について</p> <p>(1) 当別町は現在、市町村防災行政無線を導入していませんが、今の対応で十分と考えているのか。今後、導入していく考えはないのか。</p> <p>(2) 国の緊急防災、減災事業債制度を有効に活用して役場庁舎の建て替えを視野に入れた防災行政無線を早急に整備すべきでないか。</p> <p>3 刑務所や少年院出所者の再犯防止、社会復帰に向けた支援について</p> <p>(1) 刑務所や少年院出所者の再犯防止、社会復帰への支援として、地域事業者へ協力雇用主会への参画を促す、周知、啓発を行っていく考えについて。</p> <p>(2) 町が発注する工事等において、協力雇用主に対する優遇措置を導入する考えについて。</p> |
| 3 番 | 山田 明 | <p>1 当別花火大会について</p> <p>(1) 花火大会の意義をどのように認識しているか。 花火大会の今年の集客数は 15,000 人を超え、町内で最大の集客を誇るイベントとなった。来場者の 8 割は町外の方々である。交流人口増を目標に掲げる宮司町政として、この当別花火大会の意義をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 今後、花火大会の開催支援を考えてはどうか。 総合戦略を着実に推進するために、観光資源として大きな価値を持つ当別花火大会を今後も継続し開催するために当別町として、どのような支援・施策を考えているのか伺う。</p> <p>(3) 当別町 150 年記念事業として、当別花火大会を PR に活用してはどうか。 150 年記念事業に当別花火大会を位置づけ、花火大会が持つ集客力を当別町の PR に活用すべきと考えるが、町長の考えを伺う。</p> <p>2 今年度の除排雪体制について</p> <p>(1) 近年人手不足問題が表面化してきている。従業員の高齢化、労働時間の問題等で人材の確保が困難な現況で、今冬の、また今後の除排雪体制に影響が出るのではないかと危惧される。</p> |

| | | |
|-----|-------|---|
| | | <p>① 人手不足により今冬の除排雪体制に影響は無いのか。</p> <p>② 今年の除排雪の出動回数、降雪量の基準、出動時間は例年と同様か。</p> <p>③ 除排雪問題の将来的な課題は何か。そしてそれに対する対策はどのように捉えているのか町長に伺う。</p> <p>3 「一体型義務教育学校」の建設について</p> <p>(1) 小中一体型の義務教育学校は、当別町の教育環境が大きく変わる大切な事業であり、期待を寄せている地域の方も多いと受け止めている。しかしながら、一方で義務教育学校に対する地域住民の方々の理解不足の声も聞かれる。住民の期待している気持ちを、より高めるために新しい学校の在り方や、義務教育学校とは何かを考えるセミナーやシンポジウム等町民向けの取組みを行うべきと考えるが教育長の考えを伺いたい。</p> <p>(2) 義務教育学校の建設事業費について「企業版ふるさと納税」の活用を考えてはどうか。今年度より町外の企業に働きかけ、内閣府への地域再生計画を提出し、寄付金を集める事ができるように準備を進めるべきではないかと考えるが、教育長の考えを伺いたい。</p> |
| 4 番 | 鈴木 岩夫 | <p>1 人口減少・少子化対策について</p> <p>(1) 保育の無償化で生まれた財源を「副食材料費」に充て他の市町村に先んじて「完全無償化」とすべきと考えるが伺う。</p> <p>(2) 入院可能な施設の確保に向けた取り組みの進捗状況とめどについて伺う。</p> <p>2 農業10年ビジョンについて</p> <p>(1) 食料自給率が37%と下がった。TPP11、日欧EPAの当別町への影響と当別農業の現状についての認識を伺いたい。</p> <p>(2) 野菜や花卉の価格が低迷している。国に対してしっかり価格補償を求めていくべきと考えるが伺う。</p> <p>3 一体型義務教育学校について</p> <p>(1) 基本設計にかかる住民説明会で出た要望・意見が実施設計、学校づくりにどのように反映されるのかを伺う。</p> <p>(2) 当別町教育大綱の基本方針推進に向けて、新しい学校づくりと当別町150年と関わらせて当別町にゆかりのある方々についていわゆる「当別学」という学習に組まれることがあると思うがその際学校現場が取り組みやすいように条件整備に力を尽くすべきと考えるが教育長の決意を伺う。</p> <p>4 当別町150年について</p> <p>(1) 戦没者遺族会の高齢化も進んでいる。次代を担う世代にしっかり伝えていくためにも、「非核平和都市宣言」を早期に行い、宣言実現のための事業を実施すべきと考えるが伺う。</p> <p>(2) 町の維持・発展には経済が土台だが、同時に町民の心のよりどころとしての「文化」が必要です。150年を機会に「当別音頭」の維持・発展、うもれた文化遺産の発掘・研究、各文化団体へ</p> |

| | | |
|-----|--------|--|
| | | <p>の支援、「文化」発展の拠点づくりなど町民上げての議論の再開 と思いついた予算計上を含め町長・教育長の決意を伺う。</p> |
| 5 番 | 山崎 公司 | <p>1 「さっぽろ連携中枢都市圏」について</p> <p>(1) 連携協約は、大きく求められる3つの役割</p> <p>① 全域全体の経済成長のけん引</p> <p>② 高次の都市機能の集積・強化</p> <p>③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 があるとの認識である。 当別町の役割を着実に進行するため、どのような体制で取り進 めていくのか。また進捗状況をどのように公表していくのか伺 う。</p> <p>(2) 連携による当別町としてのメリット・デメリット、費用負担の 考え方、個別事業における連携の可否、今後の課題について伺 う。</p> <p>(3) 協約とビジョンの関連性、庁内推進体制、公共施設の相互利用 等の町としての役割について伺う。</p> <p>(4) 本年度、札幌市は40事業に着手する。当別町はこの内いくつの 事業と連携しているのか。また事業費負担額と今後の見通しに ついて伺う。</p> <p>(5) 札幌に人口を一極集中させるのではなく、連携を深める事で圏 域全体が活性化出来ればとの考えだが、事業連携がスムーズに いかねば、むしろ札幌に集中し、令和の合併につながっていく 懸念があるのではないか伺う。</p> <p>(6) 今後、連携事業の中で、町としてどの事業に期待しているか伺 う。</p> <p>2 職員の定数について</p> <p>(1) 当別町職員定数条例は職員定数270名だが、現在の職員数は186 名で84名少ない状況である。様々な行政施策の実施に向けて住 民サービスに支障を来たす事が無いよう、機構の見直しや人員 配置がなされているのか伺う。</p> <p>(2) 職員の年齢構成・男女別等を踏まえ、総合的・長期的な視点で 職員を採用に努めていく事が大事と考えるが、今後の職員定数 の考え方について伺う。</p> <p>(3) 最近の応募状況と職場に活気を求める個性ある職員を採用する 考えはないのか伺う。</p> <p>(4) 平成29年4月からスタートした、女性職員の活躍の推進に関す る特定事業主行動計画の数値目標の進捗はどうなっているのか 伺う。</p> |
| 6 番 | 五十嵐 信子 | <p>1 共助による地域防災の強化について</p> <p>これまでも、地域防災計画を基に、共助の根幹である自主防災組 織の組織率向上に取り組まれ、現在の町内会結成率は88.4%と聞い ている。今は、共助に加え近助の観点も重要と言われている。</p> <p>(1) 結成後の地域の活動はどのように行われているのか。地域ごと の問題点などを踏まえ、いざという時に動ける組織を増やすた めリーダー育成の現状と今後の対策を伺う。</p> <p>(2) 地域に則した防災活動が必要と考える。小さい単位の地区防災 計画の推進を地域に合わせ進めているのか伺う。</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>2 総合保健福祉センターゆとろのお風呂について</p> <p>ゆとろのお風呂について、以前より利用される方が少なくなったと心配の声がある。</p> <p>(1) 今月の広報にもお知らせとして掲載されているが、専門の方に血圧を測ってもらえたり、健康維持や予防、憩いの場としてもっと利用してもらえるような対策を考えるか伺う。</p> <p>(2) 今年の4月よりふれあいバスの路線が太美方面から、ゆとろ前で乗降できるようになり喜ばれている。しかし、運転免許を返納される予定の方からは、行動範囲が狭くなりお風呂の回数も減るのでは、と不安を抱えられている。このような声に対しての考えを伺う。</p> <p>3 子育て応援の拡充について</p> <p>ファミリーサポートでは、24時間緊急の受付対応や帰宅が遅くなる親に代わって、プレイハウスへお迎えして夕食も一緒に摂ることも一人一人に合わせて利用出来ると聞いている。</p> <p>(1) ショートステイやトワイライトステイ事業も行い、子育て支援に力を入れている自治体もあるが、そのような考えはあるか伺う。</p> <p>(2) 子育て世帯のさまざまなニーズに応える協力員は充分揃っているのか。現在は1.2回の講座開催。養成講座を受講しなければ活動が出来ないので、小単位で年数回の講座を開催する考えはあるか伺う。</p> <p>(3) 子育て支援は支え合いの意識を皆が持つことで成り立つと考える。ファミリーサポートの周知について、子育て世帯の他孫手帳のように、子育てにひと段落した方、孫世代の方までに行き届いていると思われるか伺う。</p> |
|--|--|---|